



明和町における縄文時代の遺跡は、現在 36 箇所把握されています。ただし、表採資料や遺構に伴わない出土遺物が多く、明確な集落の痕跡などは特定できていません。

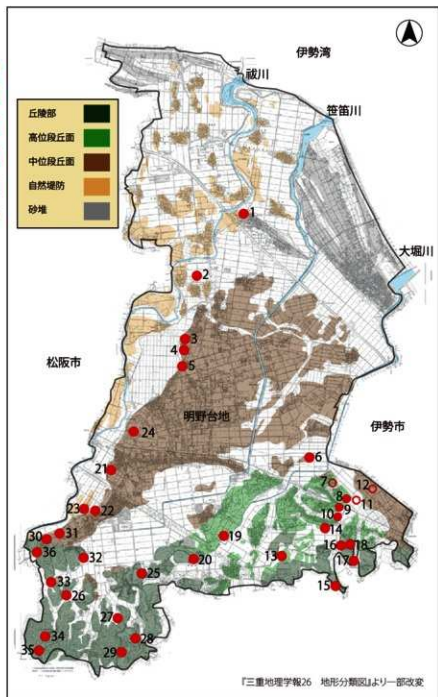
草創期では、当該期の土器は出土しておらず、町南部の丘陵部にある上村池A・B遺跡で有舌尖頭器や木葉形尖頭器、神子柴型石斧が見つっています。

早期では、丘陵部や丘陵裾部に立地するコドノB遺跡、打越遺跡などで押型文土器が確認されています。なお、後続する前期の遺跡は現在のところ町内で見つかりません。

中期では、明星牛場C遺跡や粟垣内遺跡など平地部でも遺跡が確認されています。また、平成 26 年度に行部地区の砂堆上で行った発掘調査で里木II式の深鉢1点が出土しています。

後期では、遺跡の分布域が平地部にも広がり、分布数も増加します。金剛坂遺跡の環状壺形土器などが出土した土坑や、コドノB遺跡の宮滝式期の竪穴住居跡が見つっています。

晩期では、西出遺跡で人面土版が出土しており、氾濫平野部への進出も確認できます。



- |    |         |
|----|---------|
| 1  | 西浦遺跡    |
| 2  | 西出遺跡    |
| 3  | 粟垣内遺跡   |
| 4  | 粟垣外遺跡   |
| 5  | 坂本2号墳   |
| 6  | 曾祢崎遺跡   |
| 7  | 小迫間B地点  |
| 8  | 明星牛場A遺跡 |
| 9  | 明星牛場B遺跡 |
| 10 | 明星牛場C遺跡 |
| 11 | 御前坂遺跡   |
| 12 | 尾野遺跡    |
| 13 | 獅子山遺跡   |
| 14 | 須磨ヶ広遺跡  |
| 15 | シング池遺跡  |
| 16 | 打越遺跡    |
| 17 | 新池東遺跡   |
| 18 | 長岡遺跡    |
| 19 | 北野遺跡    |
| 20 | 発シB遺跡   |
| 21 | 金剛坂遺跡   |
| 22 | 金剛坂里中遺跡 |
| 23 | 神殿遺跡    |
| 24 | 史跡齋宮跡   |
| 25 | 戸峯1号墳   |
| 26 | 丸山B遺跡   |
| 27 | 齋宮池19号墳 |
| 28 | 齋宮池遺跡   |
| 29 | 長谷町遺跡   |
| 30 | コドノA遺跡  |
| 31 | コドノB遺跡  |
| 32 | カゴ山遺跡   |
| 33 | 六ツ葉広遺跡  |
| 34 | 上村池A遺跡  |
| 35 | 上村池B遺跡  |
| 36 | 城山遺跡    |

# ～明和町内の縄文時代の動向～

町南部

地形分類	遺跡名	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期
丘陵部	上村池A遺跡	○	○				
	上村池B遺跡	○					○
	長谷町遺跡				○	○	
	斎宮池遺跡				○	○	
	斎宮池19号墳						○
	丸山B遺跡		○				
	戸峯1号墳						○
高位段丘面	発シB遺跡		○				
	打越遺跡		○				
	明星牛場C遺跡				○	○	
	明星牛場B遺跡					○	
	小迫間B地点					○	
中位段丘面	北野遺跡				○		
	城山遺跡					○	○
	コドノA遺跡						○
	コドノB遺跡	○	○				○
	六ツ葉広遺跡		○		○	○	
	金剛坂里中遺跡						○
	金剛坂遺跡				○	○	○
	史跡斎宮跡	○					○
	坂本2号墳					○	○
	粟垣外遺跡					○	○
自然堤防	粟垣内遺跡				○	○	○
	神殿遺跡						○
砂堆	西出遺跡					○	○
	西浦遺跡				○		

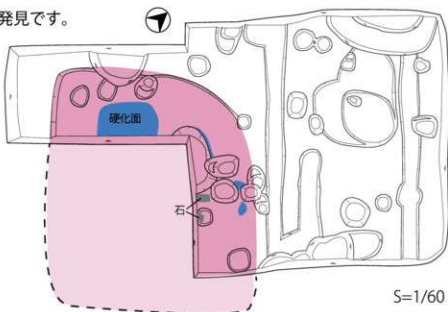
町北部

平成 26 年度に上村地区のコドノB遺跡において、太陽光発電施設の設置工事に伴う試掘調査を実施したところ、縄文時代の竪穴住居跡 1 棟を発見しました。住居跡はヨコ約 3.1m× タテ 3.2m以上の規模で、大量の縄文土器片や石鏃・石器片が見つかりました。出土した土器は、縄文時代後期後半頃の宮滝式に属するものです。

明和町内ではこれまでの発掘調査で縄文土器が出土していますが、住居跡の発見例はなく、町内における縄文人の活動を知るための重要な発見です。



竪穴住居から出土した縄文土器



S=1/60